

防 除 情 報

長崎県病害虫防除所長

令和元年度病害虫発生予察防除情報第23号

きゅうり アザミウマ類、コナジラミ類の防除対策について

きゅうりにおいてアザミウマ類、コナジラミ類の発生が多い傾向にあり、向こう1か月の気象予報では気温は高い見込みであり、アザミウマ類、コナジラミ類の増殖に好適と考えられ、今後発生拡大が懸念されます。

ミナミキイロアザミウマは、キュウリ黄化えそ病を発症するウイルス（MYSV）を媒介し、タバココナジラミは退緑黄化病を発症するウイルス（CCYV）を媒介しますので、下記の点に留意して防除指導をお願いします。

また、栽培後期にあたる作型では、次期作の被害防止および施設外へのアザミウマ類、コナジラミ類の分散を防ぐため、防除対策の徹底をお願いします。

記

1. 発生状況等

(1) アザミウマ類

ア 3月前期の巡回調査（11筆）の結果、寄生葉率は3.3%（平年2.4%）、発生圃場率は72.7%（平年32.8%）と多い発生であった（図1、2）。

イ 気象予報（福岡管区气象台、令和2年3月12日発表）によると、向こう1か月の気温は平年より高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

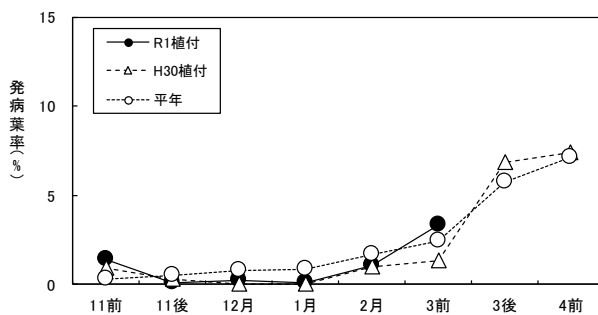


図1 アザミウマ類 寄生葉率の推移

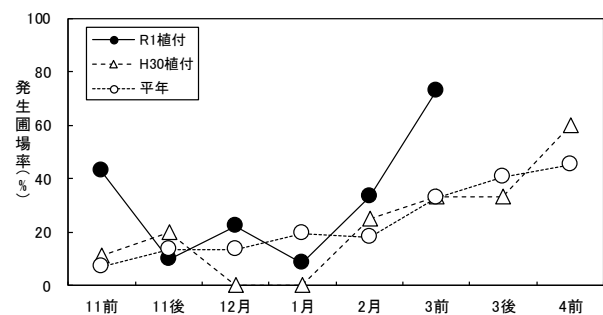


図2 アザミウマ類 発生圃場率の推移

(2) コナジラミ類

ア 3月前期の巡回調査（11筆）の結果、寄生葉率は2.5%（平年1.4%）、発生圃場率は36.4%（平年26.1%）と多い発生であった（図3、4）。

イ 気象予報（福岡管区气象台、令和2年3月12日発表）によると、向こう1か月の気温は平年より高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

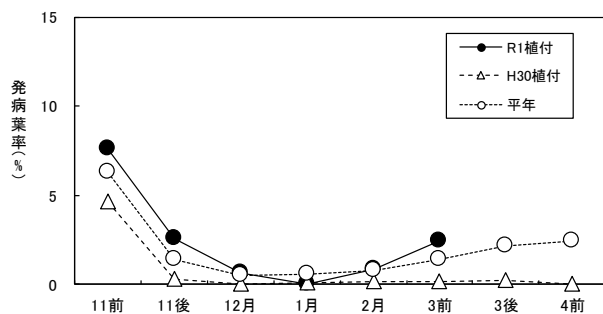


図3 コナジラミ類 寄生率の推移

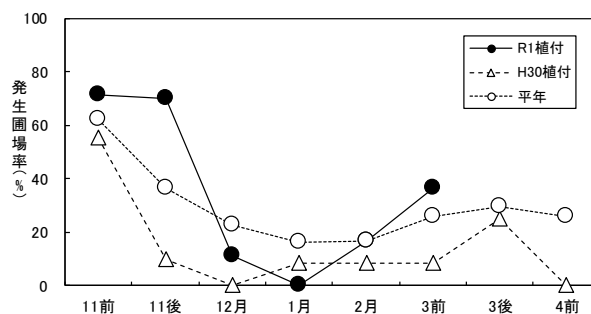


図4 アザミウマ類 発生圃場率の推移

2. 防除対策

- (1) アザミウマ類は青色粘着板、コナジラミ類は黄色粘着板で発生状況を把握し、初期防除に努める
- (2) 施設内および周辺の雑草は本虫の生息・増殖源となるので除去する。
- (3) 薬剤抵抗性発達防止のため、同一系統の薬剤（平成31年長崎県病害虫防除基準P158～163の「作用機構による分類（IRAC）」参照）を連用しない。
- (4) 栽培終了後に、施設の開口部を密閉し、日中の室温50℃以上を1週間以上維持し本虫を死滅させ、施設外への分散を防ぐ。

○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県病害虫防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせ

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027

